

II. 事業の概要等

1. 事業の概要

(1) 教育環境整備

①六甲キャンパスの取得と整備

補正予算を編成し、平成 22 年 10 月に本学の校地拡大と神戸大学との連携強化も視野に入れ、神戸大学発達科学部に隣接した六甲キャンパスを取得した。具体的な利用のためのワーキンググループを設置し検討を行うと共に、机・椅子等を購入し、講義室等に授業を実施できる環境を整えた。

また、神戸大学にも講義などでの共同利用を申し入れた。

②病院薬局実務実習の実施

平成 22 年 5 月 17 日から 5 年次生の病院実習、薬局実習を 3 期にわたり実施した。

各期終了後には、受入れ施設の指導者も招いて、学生が病院実習、薬局実習で得た成果の報告会及び意見交換会を開催した。

③国家試験対策

薬剤師国家試験対策委員会で平成 23 年度からの実施計画を立案した。

④大学院博士課程（4 年制）設置準備

大学院教授会から選出された 5 名のメンバーによるワーキンググループで教育内容の検討を行い、平成 24 年 4 月設置を目指し、現在文部科学省への届出書類を作成中。

⑤ 6 クラス編成への変更

平成 23 年度から 15 回の講義回数を確保する必要性から、現在 2 クラス合同で合計 4 クール実施している学部実習を、一部 3 クール実施に変更し、残った 1 クール分の時間で講義回数を確保する。それに伴い、従来の 1 学年 8 クラス編成を 6 クラス編成へ変更した。

⑥国際交流

・平成 22 年 8 月 23 日から 9 月 7 日まで、コンソーシアムひょうご神戸の海外派遣プログラム（薬学コース）に 8 名の学生（大学院生 1 名含）が参加し、アメリカ・ボストンで病院・薬局などを訪問、現地の薬剤師の活動状況を研修した。

・平成 23 年 3 月 8 日から 3 月 22 日まで、昭和女子大学ボストン校での海外研修を実施した。3～5 年次学生 9 名が参加、病院・薬局・製薬会社などを訪問、現地の薬剤師の活動状況や医療制度について研修した。今後は、覚書に基づき単位化を検討していく。

(2) 研究基盤形成事業の推進

平成 22 年度（第 35 回）学術研究：平成 22 年度学術研究振興資金に採択された「糖鎖の修飾による動脈硬化進展機序の解明と新規治療法の開発」の研究プロジェクトを実施した。

(3) 神戸大学との連携推進

① 大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム：神戸薬科大学と神戸大学の教育・研究分野における「医薬共同による創薬・育薬を担う医療人の育成を通じた私立・国立大学間の連携」の取組について、FD・SD 研修プログラムの試行、海外研究者による講演会の開催、平成 21 年度に導入した講義収録配信システム及び Web 会議システムの本格的稼働にむけた環境整備、自己点検・評価の実施と外部評価委員会による中間外部評価の実施、連携取組報告会の開催と報告書作成等を実施した。

② 平成 20 年度から本学 1 年次生（50 名）と神戸大学医学部医学科、保健学科 1 年次生と合同で実施している「初期体験臨床実習」を引き続き実施した。チーム医療について学び、チーム医療を担う薬剤師としての自覚を醸成した。

③ 平成 22 年度の 5 年次後期から、本学 5 年次生（39 名）と神戸大学医学部医学科、保健学科 4 年次生と合同で行う「IPW 演習」をあらたに開講し、専門領域の異なる医療職能人がチーム医療において相互理解を深め、協働することの意義を教育した。

④ 神戸大学との連携協定に基づき開発した、実践的で先端的臨床能力を備えた薬剤師を育成する薬剤師レジデント教育プログラムにおいて、2 年間の所定の課程を修了した平成 21 年度採用の薬剤師レジデント 1 名に対し、平成 23 年 3 月 25 日に修了式を行い、神戸大学、神戸薬科大学の両学長連名による修了証明書を授与した。

(4) 地域連携とエクステンション事業の更なる展開

- ① 文部科学省選定の「大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム」の事業の一環としてエクステンションセンター主催の「プライマリ・ケアにおける薬剤師の役割」をテーマにした第3回神戸薬科大学シンポジウムを平成22年7月25日に開催した。
- ② 平成22年12月5日に医療系学生と社会人を受講対象とした第1回 Student CASP Workshop in Kobe を開催した。小グループでのディスカッションを通して論文を批判的に評価し、実際の症例に適応することが可能かどうかを判断する能力を醸成するためのワークショップを開催した。

(5) 職員研修の実施

- ① 平成22年7月26日に教職員を対象として、臨床シミュレーターを用いた新しい薬学臨床教育説明会を行い、平成21年度に導入した臨床シミュレーターの講義への活用方法について研修を行った。
- ② 平成23年2月19日に開催した連携取組報告会では、昨年度実施した海外先行事例調査先のカリフォルニア大学サンフランシスコ校から講師を招へいし、「薬学教育カリキュラムの開発と評価」のテーマで、講演会を開催した。
- ③ 平成23年2月28日に特定非営利活動法人（NPO）教育研究機関化学物質管理ネットワークから講師を招き、テーマ「大学の化学物質（薬品）管理の現状と問題点」について講演会を開催した。

(6) 学生サービスの向上

4号館耐震工事に伴う講義室の全面改修、学生掲示板の改修とトイレなどの全面改修、学生食堂の照明器具を省エネ型に交換、11号館2階パブリックルームのノートPC類の増設を図るなど学生サービスの向上に努めた。

(7) 教育研究環境整備

研究設備等充実委員会で選定した研究機器及び実習機器を購入し、引続き教育研究環境を整備した。

(8) 施設・設備整備計画

六甲キャンパスの整備、4号館耐震工事、2号館屋上防水工事と空調設備工事を行った。

以上